

稲作速報

第2号

発行 J A 金山 営農部

・育苗管理(前半)のポイント
・米契約栽培米
・春農情報他

いよいよ米づくりのスタート！ 安定稲作は苗づくりから！

「今年も尋常でない？」ようやく春らしい、穏やかな天候となつてきましたが、今年も冬の大雪影響により、やや融雪遅れの状況(裏面参照：消雪日4/8)となつており、今後適期播種の確保に努めてほしい。又、今年も寒暖差の大きい傾向の中では、「天候に左右されない稲づくり」を進めよう。

いよいよ苗づくりが始まる。昔から「苗半作」と言われる様に、「健苗づくり」が安定稲作の第一歩。稲づくりは「適期適正管理」が前提となるので、あわてずゆつたりとした心持ちで、時期に合せた育苗・農作業を進めてほしい。周りに惑わされず、省略し過ぎず、稲の生育を見極め、今年も一年計画的に進めて行こう。

「金山型契約栽培稲作」の安定生産づくり

金山稲作の組立では、「偏穂重型」での生育ステージと収量構成とし、稚苗でもやや深めの水管理と穂肥のできる安定的な稲づくり。時代が求める「環境保全型稲作」を中心に、適期適正管理による品質向上・安全安心米づくりに向きたい。苗づくりの技術としては、特別変わった事は無いので、基本を守り、的確な育苗管理とし、まずは失敗しない事が一年のスタート。毎年「ヤケた」人が出ますので、下記管理に充分注意し、きめ細かな育苗管理に心掛けよう。心配な時は、必ず営農部まで「一報下さい」。

尚、稲づくりに当たって、「米情勢と生産販売方針」を確認する場としての、「**契約栽培米推進大会(裏面案内)**」を開催します。お気軽に多数参加下さる様お願い致します。特に混乱する米情勢が予想される中、丸紅(株)担当者を招いての最新の米情勢と販売事情等を学び、一層の売れる米づくりに向けに行きたい。
「これから育苗・本田と春農作業が続きますが、**「健苗づくり」と基本技術の励行により、計画作業・安全作業を進めよう。**」

～育苗管理(前半)のポイント～

— 育苗作業は、田植え日から逆算して約30日前より進めよう！ —

1、催芽・“ハト胸”で健苗づくり。—今年も、特に出芽不良や不揃いに注意！—

- ・今年の浸種(水つけ)期間も、水温がやや低く、積算温度(吸水)不足傾向にあるので1~2晩位、**風呂湯等に追加浸漬**すると良い。
- ・**温度は 30~32℃**とし、品種によっても異なるが、1昼夜~1昼夜半位で**ハト胸状態(1mm)**厳守にし、半日~1日陰干しする。尚、**芽切れが悪い場合はやや長めに催芽し、出芽不良や不揃いに注意する。**

2、は種・種籾は均一には種しよう。—必ず催芽を確認してから、は種！—

苗の種類	播種量(催芽籾)	育苗日数	必要箱数	苗令	苗丈	第1葉鞘長
稚苗	180~200g	25~30日	23箱	2.5葉	13cm	3.5cm
中苗	120~150g	35~40日	28箱	3.0葉	15cm	2.5cm

・は種時のかん水量は、**1箱当り10位**とし、特に床土の種類(培土・赤土・砂系など)やピートモス等の混合によって、水の浸透度合いが違うので、**播種機のかん水位置と水量に注意し、覆土後に「しみ上がる程度」とする。(注意! : 多すぎると発芽不揃い、少なすぎると根上り・根張り不足現象になりやすい)**

3、出芽・発芽長は1cmを厳守する。—今年もできるだけ加温出芽(育苗器)で！—

加温出芽(育苗器)(2日)	無加温出芽(5~7日)
<ul style="list-style-type: none"> ・育苗器の温度は30~32℃とする。 ・育苗器によって、設定温度に上がるまでの時間差もあるので、苗出しを考慮して電気を入れる。 ・ハウスへの苗出しは、午前中に出すようにし、好天時は“白化苗”を防ぐ為に、並べ終わり次第順次かん水し、マット等をかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積み重ね方式・は種後ハウス内に、角材・くい等を敷き、8~10段に重ねマット等をかぶせる。天候にもよるが、3日位で上箱の発芽が少し見え始めたら、上下の積み返しを行い2日位で揃う。 ・ベタ置き方式・は種後ハウス内に並べ、すぐにマット(ミラーシート)をかける。天候にもよるが、約7日位で発芽する。どうしても乾燥や覆土の持上りがあるので、発芽揃いで1回軽くかん水する。

4、緑化・マットをかけてのハウス管理(2~4日)。=この期間が「ヤケ苗発生(高温障害)多い! =

- ・加温・無加温出芽苗ともに、発芽後~1.5葉の2~4日間位(天候によって前後)をマット(ミラーシート等)をかけて、品種によっても違うが**3~5cm位の長さになったらマットをはぐ。**(はえぬき・あきたこまちは4~5cm、出羽燦々・美山錦・ヒメノモチは3~4cmが目安)
- ・**水管理**・天候等にもよるが、**マットをかける前はたっぷりかん水する。**箱毎の水分を一定にするためでもあり、土の持上りを落とす為でもある。尚、**かん水は、早朝もしくは午前中とする。**
- ・**温度管理**・基本的には日中30℃以下、夜間10℃以上とし、天候の良い日は、**早めに(朝7時頃)ハウスの腰下部分を開け、夜間温度を保つ為に、午後早めに(3時頃)ハウスを閉める。**ハウスビニールの新しい物(1~2年目)程、かなりの高温になるので、**心配なときは必ずハウスを大きく開ける。**マットをかけた日の**当日の幼苗が、高温に一番弱く(第1葉展開まで)、“ヤケ”やすいので充分注意する。**風の強い日は、小さく開けてよい。ほとんどのひどい**“ヤケ苗”は、この期間(マットかけ時)に発生!**

5、育苗病害対策・苗立枯れ病他

・肥料入り床土使用で、タチガレンを使わなかった人は、出芽後ハウスに並べた時又は、緑化後にかん水代わりに**タチガレエース液剤 500 倍液を1箱当たり 500cc散布**する。(使用法：水 100ℓに 200cc を溶かし 200 箱に散布) ~硬化苗管理は次号で~

※心配な時や苗がおかしいと思ったら、**すぐに連絡下さい。連絡先は**

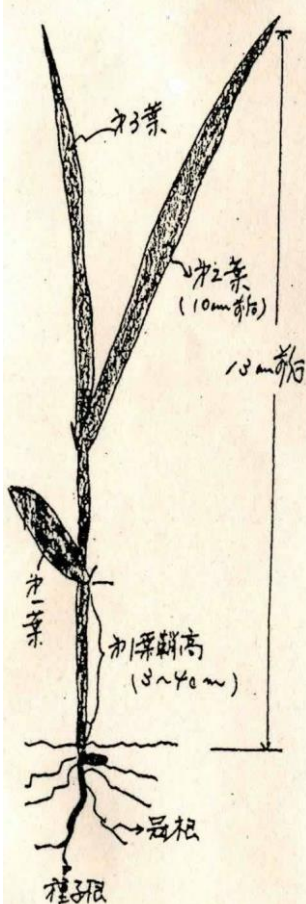
☎ 営農部 52-2892 <笹原携帯 080-2800-8119>

育苗作業計画

<※日曜主体の人>

4/16	催芽
4/19	は種
(日)	出芽
	(育苗器)
4/22	緑化
	(苗出し・マット)
4/25	硬化
	(マットなし)
↓	
5/17	田植え
(日)	

稚苗目標苗



2014年産全国うるち米品種別作付割合

米穀機構は、2014年産米の品種別作付割合の確定値上位20品種を発表。1位は36年連続で「コシヒカリ」、上位10品種で76.3%の割合。山形県産の「はえぬき」は6位で、「つや姫」は17位となっている。主要品種から他品種への動きが出ている。

順位	前年産の順位	品 種	作付割合(%)	主要産地
1	1	コシヒカリ	36.4	新潟、茨城、栃木
2	2	ひとめぼれ	9.7	宮城、岩手、福島
3	3	ヒノヒカリ	9.2	熊本、大分、鹿児島
4	4	あきたこまち	7.2	秋田、岩手、茨城
5	5	ななつぼし	3.1	北海道
6	7	はえぬき	2.9	山形、香川、秋田
7	6	キヌヒカリ	2.7	滋賀、兵庫、埼玉
8	8	まっしぐら	2.0	青森
9	9	あさひの夢	1.6	栃木、群馬
10	11	こしいぶき	1.5	新潟
11	10	きらら397	1.3	北海道
12	15	ゆめぴりか	1.2	北海道
13	12	つがるロマン	1.2	青森
14	13	あいちのかおり	1.0	愛知
15	19	きぬむすめ	1.0	島根、鳥取、岡山
16	14	夢つくし	1.0	福岡
17	17	つや姫	0.8	山形、宮城
18	16	彩のかがやき	0.7	埼玉
19	18	ハツシモ	0.6	岐阜
20	21	ふさこがね	0.6	千葉
上位20品種計			85.7	

「契約栽培米推進大会」の開催案内

— 信頼される産地づくりに向け、ともに学ぼう —

契約栽培米も、全体の約98%に定着してきている中で、今年で18回目の推進大会を左記の日程で行います。

変化する米情勢・米販売の最前線を学び、金山稲作の確立を進めていこう！

一、日時 5月1日(金) 午後7時～8時半(受付6時半)

二、場所 金山町農村環境改善センター

三、内容

(一)開会・挨拶

(二)基調講演

(三)「時代の变化に適應する、米産地づくりを目指して」

・丸紅(株)食品流通部長 農産課長 田畑 壮太郎氏(予定)

(四)平成27年度の取組み方針、当面の稲作管理他

(五)第7回金山農協稲作推進協議会総会

(六)閉会

※ぜひ、お誘いの上にご参加下さい。

＝ 春 農 情 報 ＝

1) 特別栽培米(ヒメノモチ・出羽燦々)「減農薬50%+減化学肥料50%以下」

減 農 薬 減 化 学 肥 料 裁 培 基 準 (慣行比50%減)																												
減農薬基準	減化学肥料基準																											
※下記のいずれかの減農薬基準とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施肥方法</th> <th rowspan="2">肥料名</th> <th>基準1</th> <th>基準2</th> </tr> <tr> <th>(有機質肥料)</th> <th>(有機物使用)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">元肥 (10a)</td> <td>土づくり肥料</td> <td colspan="2">稲ワラ全量又は天の恵み14号等80kg</td> </tr> <tr> <td>堆肥又はケイフン</td> <td>-</td> <td>堆肥1～2t又はケイフン4～5袋</td> </tr> <tr> <td>もがみ専用有機(有機N5.1%) (10-10-10)</td> <td>40～50kg</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">追肥 (10a)</td> <td>尿素有機入り化成(有機N4%) (15-10-10)</td> <td>-</td> <td>15～20kg</td> </tr> <tr> <td>有機入り化成NPK(有機N5.1%) (10-2-10)</td> <td>20～30kg</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>尿素有機入り化成(有機N4%) (15-10-10)</td> <td>-</td> <td>10kg</td> </tr> </tbody> </table>	施肥方法	肥料名	基準1	基準2	(有機質肥料)	(有機物使用)	元肥 (10a)	土づくり肥料	稲ワラ全量又は天の恵み14号等80kg		堆肥又はケイフン	-	堆肥1～2t又はケイフン4～5袋	もがみ専用有機(有機N5.1%) (10-10-10)	40～50kg	-	追肥 (10a)	尿素有機入り化成(有機N4%) (15-10-10)	-	15～20kg	有機入り化成NPK(有機N5.1%) (10-2-10)	20～30kg	-		尿素有機入り化成(有機N4%) (15-10-10)	-	10kg
	施肥方法			肥料名	基準1	基準2																						
		(有機質肥料)	(有機物使用)																									
	元肥 (10a)	土づくり肥料	稲ワラ全量又は天の恵み14号等80kg																									
堆肥又はケイフン		-	堆肥1～2t又はケイフン4～5袋																									
もがみ専用有機(有機N5.1%) (10-10-10)		40～50kg	-																									
追肥 (10a)	尿素有機入り化成(有機N4%) (15-10-10)	-	15～20kg																									
	有機入り化成NPK(有機N5.1%) (10-2-10)	20～30kg	-																									
	尿素有機入り化成(有機N4%) (15-10-10)	-	10kg																									

2) ブランド栽培米(出羽燦々)「JGAP認証+シリカタント栽培+低農薬栽培」

施肥方法	肥料名	10a当り施肥量	備考
土づくり	天の恵み14号	80kg(4袋)	
元肥	※肥料限定なし	N成分 4～5kg	
追肥①	※肥料限定なし	N成分 2kg	出穂前20～25日
追肥②	スーパーケイサン	15kg(1袋)	出穂前10～20日

3) マイルド栽培米(検討中)「減農薬50%以下」

使用項目	使用農薬			基準1	基準2
	名称(商品名)	使用量	成分	標準主体	資材主体
種子消毒	テクリードCフロアブル	40cc/10a	1	○	
〃	エコホープ又は温湯消毒	200倍・60℃	0		○
育苗消毒	タチガレン粉剤・液剤	7g・1cc/箱	1	○	○
箱処理剤	ブイゲットフェルテラ粒剤	50g/箱	2	○	○
除草剤	メテオ粒剤	1kg	1		○
〃	ビクトリーZ又はヤイバ粒剤・フロアブル・ジャンボ・豆つぶ	1kg・500cc・400g・250g	2	○	○
〃	バサグラン粒剤・液剤	3k・500cc	1	○	○
イモチ病	コラトップ粒剤	1kg	1		○
〃	ビーム粉剤・ゾル	3kg・120cc	1	○	
〃	カスミン粉剤・液剤	3kg・120cc	0	○	○
紋枯病	バリダシン粉剤・液剤	3kg・120cc	0	○	○
稲こらじ病	散粉ボルドー粉剤	3kg	0	○	○
殺虫剤	トレボン粉剤・乳剤	3kg・60cc	1	○	○
〃	キラップ又はスタークル粉剤・フロアブル・液剤	3kg・60・120cc	1	○	○

1. 融雪情報PART II

ようやく春らしい天候も見られてきましたが、今冬も大雪状態となり、雪融けも少し遅れている状況です(下記参照)。できるだけ早目のハウス補修等に努め、苗づくりはあまり遅れないようにしましょう。

また、野ねずみ等の被害にも注意が必要です！。

	H27	H26	H25	H24	H23
4/8現在積雪量(cm)	0	38	46	88	69
※最大積雪量(cm)	197	173	224	156	202
消雪日(予想)	4/8	4/14	4/17	4/20	4/22

2. 「環境保全型稲作」の進め方(左表) -

時代が求める米づくりの一環として、今年も立地条件を生かし、自然環境にやさしい・配慮する「環境保全型稲作」に努めます。

今年各品種による栽培基準は、左表の内容です。

1) 特別栽培米…ヒメノモチ・出羽燦々

※つや姫は認証扱い

2) ブランド栽培…出羽燦々(GAP認証+シリカ+低農薬)

3) (マイルド栽培米)…現在検討中

3. 契約米品種対応 -

前回今年の作付計画を示しましたが、今後とも、“販売優先”という観点から、は種・田植えの段階で、契約品種のはえぬき・あきたこまち・酒米・モチ米を優先的に作付して下さい。尚、契約は例年通り、5月下旬の米契約時となります。

4. 営農部生産資材情報 -

今年も低コスト生産に向けた、低コスト資材の供給と低価格化等に努めます。また資材情報は、随時紹介して行きます。

尚、**生産資材窓口は、4月より休日も対応致します**ので、ぜひお気軽にご利用願います。又、**春肥料の自己引取りは、2～3日前に連絡をお願いします。**